

経済・社会を支える

# 倉庫・物流センター

物流の一角を担う倉庫業界の市場は緩やかに拡大している。普通営業倉庫の面積は右肩上がりです。保管残高数量も増加傾向だ。電子商取引(EC)市場の拡大に加え、輸送力不足が懸念される「物流の2024年問題」対策として倉庫を分散して持ち、長距離輸送を減らす動きもある。倉庫業界では需要増加対応に加え、より高品質な輸送や環境対策などのニーズに応えて成長を目指している。

国土交通省の「倉庫統計季報」によると、22年度の普通営業倉庫の面積は11年度に比べ約1.7倍に拡大した。保管残高数量はコロナ禍の巣ごもり需要があった20年に比べると減少したものの増加傾向にある。倉庫各社だけでなく不動産などの異業種も含めて倉庫の新設が相次いでいる。

### 災害に強い

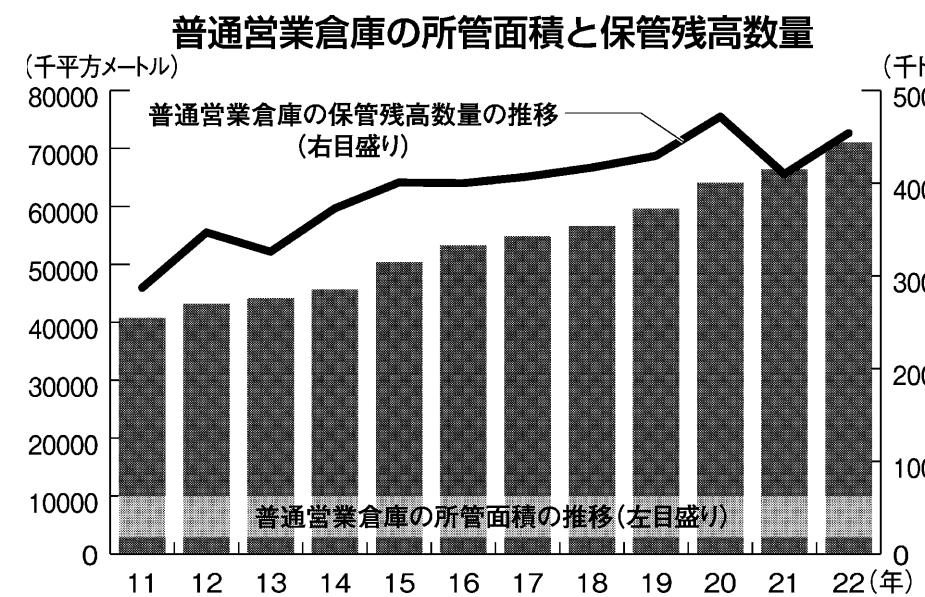
安田倉庫は今春、埼玉県加須市に物流倉庫「加須営業所」を開業し、営業を開始した。4階建ての延べ床面積約4万平方メートルの倉庫



滋澤倉庫は2月に飲料物流に特化した倉庫を完成させた

## 相次ぎ新設・異業種参入 面積1.7倍

## 2024年問題 - 倉庫分散、長距離輸送減らす



で、免震構造や非常用電源によって災害に強い倉庫と対応した空調・保冷庫などの設備を備えており、配送機能のさらなる強化やメテロカル物流サービスの拡充を図る。

**阪神に2拠点**  
滋澤倉庫は今春、阪神エリアに危険物倉庫を2拠点完成させた。神戸支店摩耶営業所七架倉庫(神戸市中央区)は神戸港のほぼ中心に位置する。大阪支店茨木営業所茨木危険物倉庫(大阪府茨木市)は茨木インターチェンジ近隣に立地し、

リチウムイオン電池などを取り扱う予定だ。また、同社は9月に飲料物流に特化した新拠点として、延べ床面積2万3830平方メートルの京葉配送営業所千葉北第三倉庫(千葉県千葉市花見川区)を完成させた。これまで培った飲料物流のノウハウを反映させた。自動搬送機や無人搬送機(フォークリフト)を導入し、保管や作業の効率を高めた。

**EVTトラック実証**  
環境対応の取り組みも進展している。三菱倉庫はノルディックスクアアマ

## 物流DXで業務効率化

日本倉庫協会の営業倉庫事業者が入会し、1948年に設立した倉庫業の健全な発達を促進し、公共の福祉に寄与することを目的とした倉庫事業者の団体です。全国の地区協会を通じて約2650社

2024年問題  
は1948年に設立した倉庫業の健全な発達を促進し、公共の福祉に寄与することを目的とした倉庫事業者の団体です。全国の地区協会を通じて約2650社

024年問題」の影響に直面する年であり、物流業界では人手不足への対応が喫緊の課題となっています。人手不足への対応として、人材確保と並行したプロセスの導入が期待されています。自動搬送機や、自動搬送機による業務効率化が不可欠となっており、当協会では会員事業者向けに

た情報提供とともに、関係官庁に対して予算・税制面での支援策強化を要望しております。

今年5月には改正物効法が公布され、荷主企業・運送事業者・倉庫事業者が連携した、ドライバーの負担軽減を図る事となりました。規制の措置を含む政省令等について現在検討が進められています。当協会も業界を代表する組織として、対処を進めますが、荷役・荷役時間の短縮には荷主企業の協力が必須であり、連携してリードタイム短縮や物量差の緩和による

### 荷主と連携し平準化

平準化に取り組んで参ります。また、持続可能な物流の実現にはカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)への対応も必要であり、グリーントランスフォーメーション(GX)推進に関する会員事業者への情報発信や支援制度活用を推進します。

事業環境が急激に変化している状況ですが、当協会ではこの変化を業界発展に資するチャンスと捉え、社会のために活動を展開し、社会基盤としての倉庫業の責務を果たして参ります。



ごあいさつ 日本倉庫協会 会長 藤倉 正夫

(東京都千代田区)と共同で、医薬品の輸送に中型の電動トラック(EVトラック)を活用する実証実験を8月に開始した。特約店へ輸送するトラックの1台をディーゼル車から切り替えた。医薬品の適正流通(GDP)ガイドラインに準拠した中型EVトラックによる特約店向け医薬品輸送は業界初の取り組みだ。

EVトラックは充電スタンドの場所が限定されることや、一度に配送できる総積載量が少ないこと、走行距離が短いことが課題だ。今回、配送ルート最適化などで導入が可能になった。継続的に取り組みを評価・改善し、順次対象地域の拡大を目指す。

### 太陽光パネル設置

安田倉庫は東京都江東区の倉庫「Landport 東雲・安田倉庫」に、年間発電量が約2万7千時間の太陽光発電パネルを設置し、5月から運転を開始した。発電した電気は同社の東雲営業所(同江東区)内で自家消費し、二酸化炭素(CO2)排出量を年間約90トン削減できる。

### 拘束時間削減

物流の24時間問題の解決にも取り組む。三井倉庫ロジスティクス(東京都中央区)は、上新電機向けに運営している店舗配送業務にLOZII(名古屋市中区)などが開発したブロックチェーン(分散型台帳)技術を活用した物流管理システムを導入した。店舗向けの配送では、ドライバーの待機時間を1日平均45分削減する効果を確認した。

### EVトラック実証

環境対応の取り組みも進展している。三菱倉庫はノルディックスクアアマ

**YASDA** Logistics, Progress, Borderless.

高品質な医療機器・医薬品物流をご提供します。

安田倉庫株式会社  
〒108-8435 東京都港区芝浦3-1-1  
msb Tamachi 田町ステーションタワーN29F  
TEL. 03-3452-7318 (サービスのお問合せ先)

www.yasuda-soko.co.jp

社会を止めない。進化をつなぐ。

**MITSUI-SOKO GROUP**

3分でわかる三井倉庫グループ

**三菱倉庫**  
いつもを支える。いつかに挑む。  
Supporting Today, Innovating Tomorrow.

永続する使命。

Challenge 挑戦  
Create 創造  
Cooperate 共創で、  
進化を続けるパートナー、それが私たち 滋澤倉庫です。

**Trusted Logi**  
人と未来に寄り添う

**TEISOH**

株式会社 帝国倉庫  
〒135-0024 東京都江東区清澄1丁目5番1号  
TEL.03-3642-0112(代表) FAX.03-3641-1763  
https://www.teiso.co.jp/

横浜市本牧埠頭に  
新倉庫を  
24年7月 開設

お客様の「想い」をつなぐため、物流パートナーとして、最適なサービスを提供し続けます。

「続く」を支える。  
**ヤマタネ**

https://www.yamatane.co.jp/

安全と安心が私達のモットーです  
危険物・毒劇物・医療品分野に特化した  
総合物流サービスのコーディネーター

**SanWa**

三和倉庫株式会社  
〒226-0012 神奈川県横浜市緑区上山1-16-1  
TEL. 045-614-6111  
FAX. 045-614-6140  
www.sanwasoko.co.jp

物流があるから、世界はいつも新しい。

モノを作っている人がいて、売っている人がいる。そこに必ず「つなぐ人」がいる。正確に、丁寧に、安全に。効率的に。新しい世界を支えるために。

ピト、モノ、コトの接点を生み出す。ケイヒングループ。

www.keihin.co.jp

いますぐ動こう、気温上昇を止めるために。

**1.5℃**の約束

SDG MEDIA COMPACT

日刊工業新聞社は「SDGメディア・コンパクト」加盟メディアとして、気候アクションを推進する国連のACT NOWキャンペーンを支援しています。

日刊工業新聞社 ACT NOW

N&Nホールディングスグループ  
**日本国際輸送株式会社**  
グローバルな視点で  
絶えず物流の革新を  
追求します!

代表取締役社長 海野政裕

本社 〒231-0023 神奈川県横浜市中央区山下町1番地  
東京支店 〒108-0073 東京都港区三田3丁目12番17号  
川崎支店 〒210-0865 神奈川県川崎市川崎区千鳥町7番1号  
TEL.045-212-5361  
TEL.03-5419-2800  
TEL.044-277-6611  
URL:https://jotco.jp/

信頼を暮らしにつなぐ倉庫業

一般社団法人 日本倉庫協会  
The Japan Warehousing Association Inc.

会長 藤倉 正夫

〒135-8443 東京都江東区永代1-13-3  
TEL.03-3643-1221(代表) FAX.03-3643-1252  
ホームページアドレス www.nissokyo.or.jp/